

Flash (Flash Player) のバージョンごとの違い

Ver	AS	特徴	対応外部ファイル	対応デバイス サービス
1996 Flash1.0 FlashPlayer1	なし	1996年にアメリカ合衆国のコンピュータ・ソフトウェア会社 FutureWave Software がアニメーション・データを作成するソフト FutureSplash Animator と再生プラグイン FutureSplash Player を開発。これをマクロメディアが会社ごと買収し、FutureSplash を略し、Shockwave シリーズに組み込むことによりこの規格は Shockwave Flash (ファイルフォーマット名及び拡張子で使われる SWF は ShockWave Flash Object の略)、作成ソフトは Macromedia Flash に改名された。このころからすでに数多くの基本的な機能を備えており、またベクターイメージで描画する事により動画データとしては非常にデータ量を小さくした事により注目される。 <small>出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』</small>	不明	
1997 Flash2 FlashPlayer2	フレーム アクション		SWF	
1998 Flash3 FlashPlayer3	フレーム アクション	1998年、Flash 3 のベータ版公開と同時に Shockwave Flash (.swf) の仕様をオープン・スタンダード化する事が発表される。同年発売された Macromedia Flash 3 からインタラクティブ関連の機能が強化され、次第に「アニメーションソフト」の枠にとどまらない発展をするようになる。Flash 4 で変数、文字列処理、条件分岐ができるようになる。 <small>出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』</small>		
1999 Flash4 FlashPlayer4	フレーム アクション	・スラッシュシンタックス、携帯電話用の Flash Lite1.1 とほぼ同じ スクリプト記述 ・インタラクティブ機能を意識したスクリプトの強化。 <small>出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』</small>	TXT	FlashLite1.x (ケータイ Flash) 現在も多くの サービスの標準
2000/7 Flash5 FlashPlayer5	AS1.0	Macromedia Flash 5、Macromedia Flash MX (Flash Player 6) で ActionScript が搭載され、プログラミングの機能が大幅に強化されたため、プログラマたちも Macromedia Flash を使うようになる。なお、MX は「Miracle Experience」の略称である。 <small>出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』</small>		
2002/3 FlashMX FlashPlayer6	AS1.0	・Flash 5 をベースに、ビデオ機能や SharedObject 等のコミュニケーション機能をサポートした ・ビデオ再生には Flash Communication Server が必要	MP3 XML JPG	Yahoo! Japan
2003/12 FlashMX 2004 FlashPlayer7	AS2.0	・Flash ビデオ (flv) が Flash Communication Server が無くても使用可能に。 Macromedia Flash MX 2004 (Flash Player 7) では、ActionScript2 が搭載され、動画配信もサポートし、2005年秋にリリースされた Macromedia Flash 8 Professional ではアニメ、グラフィック関連を中心に大幅なバージョンアップが行われ、また機能制限版の Macromedia FLASH 8 BASIC も同時リリースされ、新たな層の開拓にも意欲的である。 <small>出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』</small>	CSS FLV	FlashLite2.x (ケータイ Flash) AU,SoftBank 2006 秋モデル以降 の一部。 PSP,wii
2005/10 Flash8 FlashPlayer8	AS2.0	・動画に適用可能な「ぼかし」「ドロップシャドウ」「グロー」といったフィルタエフェクトの利用が可能 ・2005年12月3日 Adobe Systems 社により Macromedia 社の買収手続き完了 <small>出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』</small>	PJPG GIF PNG	FlashLite3.x (ケータイ Flash) ドコモ 2007 冬モデル以降
2006/6 FlashPlayer9 2007/6 FlashCS3 PRO	AS3.0	・FlashPlayer9のみ先行リリース ・ActionScript 3.0 開発 ・バイナリ読み込みに対応 ・Adobe Device Central CS3 でケータイのシミュレーションが可能に ・Flash Player9.0.115.0 から MP4(H.264) 形式の動画ファイルの読み込みに対応。 ・Flash Player9.0.18.60 からフルスクリーンに対応。	bin MP4	PS3, ニコニコ動画 GoogleStreetView YouTube
2008/12 FlashCS4 PRO FlashPlayer10	AS3.0	・3D 変換 ・ボーンツールを用いたインバースキネマティック (IK)		